

気高道の駅（仮称） 基本設計説明書

目次	
1. 設計概要	1
2. 基本方針	2
3. 基本設計図	3
4. 建築計画	4
5. 施設配置計画	5
6. 植栽計画	6
7. イメージ図	7
8. 概算工事費と事業スケジュール	9

平成 29 年 5 月

鳥取市

1. 設計概要

(1) 位置・面積

○整備位置

鳥取県鳥取市鹿野町岡木

○敷地面積

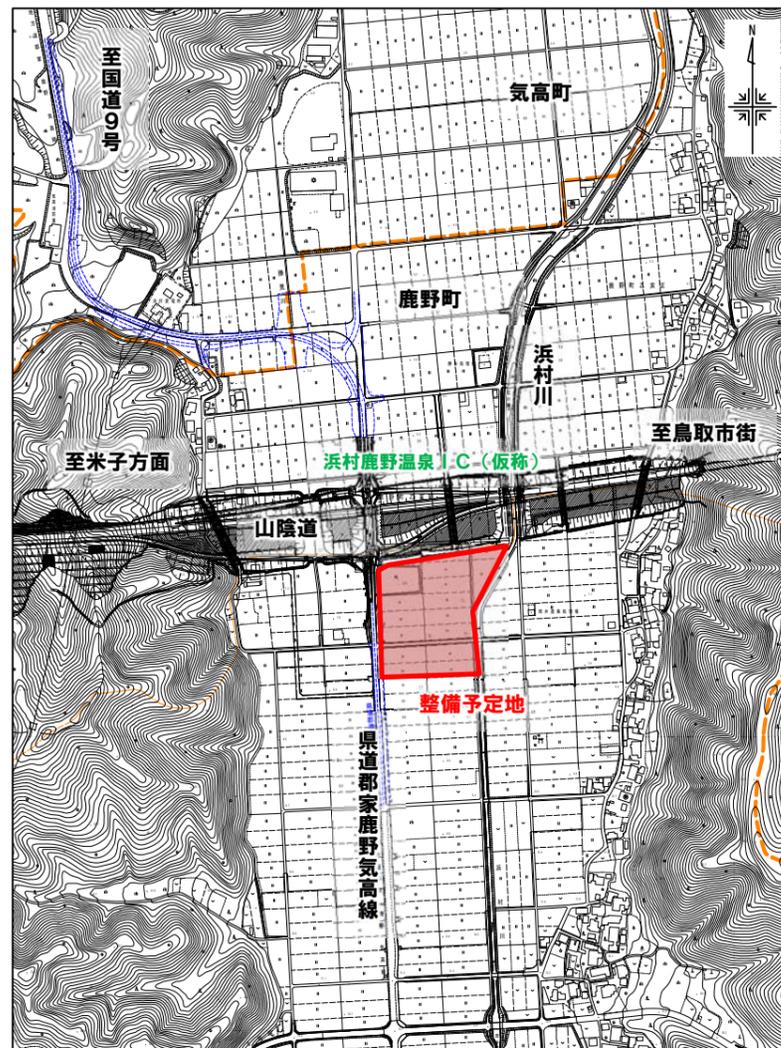
約 19,000 m²

○路線名

県道郡家鹿野気高線、山陰道



鳥取市西部地域位置図



整備位置図

(2) 整備施設概要

○駐車場

小型車 119 台 (うち多目的 3 台、EV 充電器 1 台)、RV パーク 2 台、
大型車 22 台、二輪車 15 台

○駅舎 1,622.85 m²

・情報・休憩コーナー

道路情報・地域情報、授乳室、畳コーナー

・トイレ

男小 15 器、男大 5 器、女 15 器、多目的 2 器、パウダールーム

・地域振興施設

PC 情報・案内所、レストラン (専用トイレ含む)、物産コーナー、
体験加工室・地域交流室、農畜産・海産加工室、ファストフード、
飲食コーナー、コンビニ、倉庫・荷捌き場、管理事務室 (従業員専用トイレ含む)、
太陽光発電

○その他

・足湯

・エネルギー備蓄倉庫

木質バイオマスボイラ、非常用発電機、キュービクル

・イベント・休憩スペース

・多機能用地

イベント広場や臨時駐車場、ドッグランや花畑などの魅力施設に活用

・ガソリンスタンド用地



整備位置周辺状況

2. 基本方針

○基本設計

◆コンセプト

癒しと温もりを感じるリラックスステーション

鳥取市西地域には日本海や鷲峰山等の豊かな自然資源があり、農林水産物、特産品など多様な地域資源に恵まれている。

またこの地域の観光資源の代表として浜村温泉や鹿野温泉がある。

道の駅を訪れる方々に、山、海、温泉、食べ物などの地域の魅力を感じていただくことで、癒し・温もりを提供するリラックスステーションとなるようこのコンセプトとした。

◆道の駅の特徴【目玉・ウリ】

○道の駅から周辺の田園風景や山並みを望み、癒しを提供できる開放・快適空間！

- ガラス張りの駅舎を中心とした施設整備により、建物と緑豊かな地域の田園風景や山並みの眺めを一体化。
- 来訪者に、地域の豊かな自然環境の体感と癒し空間を提供。
- 施設南側の鷲峰山への眺望に配慮したオープンデッキで、光や風を楽しむ居心地よい食事場所を提供。
- オープンスペースの確保により、市民による屋外イベント開催と市民交流を支援。



○農畜水産物の出来立て加工食品をその場で提供、和紙づくりなどの伝統産業の体験も可能！

- 物産コーナーでは地元産にこだわった農畜産物、海産物、特産品、加工品等を提供、レストランでは、地元食材にこだわったオリジナルメニューも提供。
- 農畜水産加工室を設置し、購入した地元の食材をその場で調理。新鮮で安心な食の提供。
- 地元の産物を使った新しい商品や特産品の開発、チャレンジショップの受入れにより、6次産業化や雇用創出に貢献。
- 多目的利用が可能な体験交流室(兼)地域交流室は、ご当地アイスづくり・紙すき・和紙あそび・そば打ち・手づくり等の多様な体験の受け皿として活用。
- 地域の観光やイベント、歴史文化等の情報の提供と案内・誘導。



○周辺の自然環境に配慮した再生可能エネルギーの導入等による安全で安心な拠点づくり！

- 太陽光を使用した照明、木質バイオマスによる給湯など、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの導入によるエコ拠点を實現。
- 防災機能の充実による安全安心拠点を提供。
 - *停電時の駅舎内のトイレや情報コーナーの電源や給水ポンプ等の動力源となる太陽光や非常用発電機
 - *非常食等を配備する備蓄倉庫、火災時の消防水利となる防火水槽
 - *木質バイオマスによる常時配湯
- ガソリンスタンド併設による地域燃料センターの確保。



非常用発電機



備蓄倉庫

○源泉52度超の浜村・鹿野温泉により、癒し・温もり・健康を提供！

- 本市の代表的な観光資源である浜村・鹿野温泉を足湯で体験。温泉地へ誘導。
- 足湯で四季おりおりの自然を眺めながらゆったりと温泉気分を満喫。
- 温泉効果と道の駅での健康的な食材の提供による健康づくり。
- 利用者の語らいの場として交流機会を提供。
- 温泉地との連携を深め、道の駅を発着とした温泉観光ルートを提案。



○基本構想・基本計画

◆整備の目的

- 地域の課題を解決し、地域の活性化につながる道の駅
- 鳥取市の西の玄関口となる道の駅
- 山陰道利用者の安全確保のための休憩施設
- 道の駅を中心としたまちづくりの拠点

◆道の駅コンセプト

人とまちを元気にする鳥取・因幡らしさが息づく 西因幡 道の駅

◆道の駅に求める姿

1. 誰もが立寄りたくなる、「おもしろい」道の駅
2. 地域を周遊するきっかけの「まちの顔・案内人」
3. 地域の人を使いやすく、やりたいことができる「地域のための道の駅」
4. まちがうるおい、元気になる！「地域に還元する道の駅」

■「気高道の駅(仮称)」鳥取市既存道の駅との比較(参考)

道の駅	神話の里白うさぎ	清流茶屋かわはら	気高(仮称)(案)
コンセプト	神話ロマンを誘う道の駅	街道の茶屋	癒しと温もりを感じる リラックスステーション
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 「因幡の白うさぎ」の神話をイメージした2階建ての建物 1階には地元の特産品を中心とした物産販売 2階には日本海に沈む夕日や漁火を見ながら食事のできる和食を中心としたレストラン 白うさぎの伝説を生かした魅力ある観光の拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 茶屋をイメージした木造瓦葺きの建物 新鮮な地元農産物の販売や地元の味を堪能できるレストラン 地産地消を中心とした地域振興の拠点 隣接する千代川の河川敷には水辺プラザも整備 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺環境と一体化する明るく開放的な建物 鷲峰山を望む景観や風を感じるレストラン 新鮮な地元農産物や海産物等の直売、加工 6次産業化を促進し体験可能な加工施設、チャレンジショップスペース 災害時の拠点となる防災設備 地域の温泉を活用した足湯 地域燃料センターとなるガソリンスタンドを併設
造成面積	12,684㎡	18,059㎡	約19,000㎡
道路管理者	国土交通省	国土交通省	鳥取県
建物延床面積	1,330㎡	1,866㎡(通路等含まず) 2,066㎡(通路等含む)	1,622.85㎡(通路等含まず) 2,102.6㎡(通路等含む)
施設内容	鳥取市	物産販売 レストラン 展示スペース(因幡の白うさぎ神話を紹介)	物産販売 レストラン 農産物直売所 コンビニエンスストア
	道路管理者	休憩施設(トイレ等) 情報交流室	休憩施設(トイレ等) 情報交流室
	備考	地域交流・飲食コーナー、コンビニエンスストア無し	

5. 施設配置計画

N
S=1:700 (A3)



多機能用地で花畑やドッグラン等を実施し、魅力を向上



イベント・休憩スペースでにぎわいと憩いの場を創出



足湯で地域資源のPRと憩い・健康・語らいの場の創

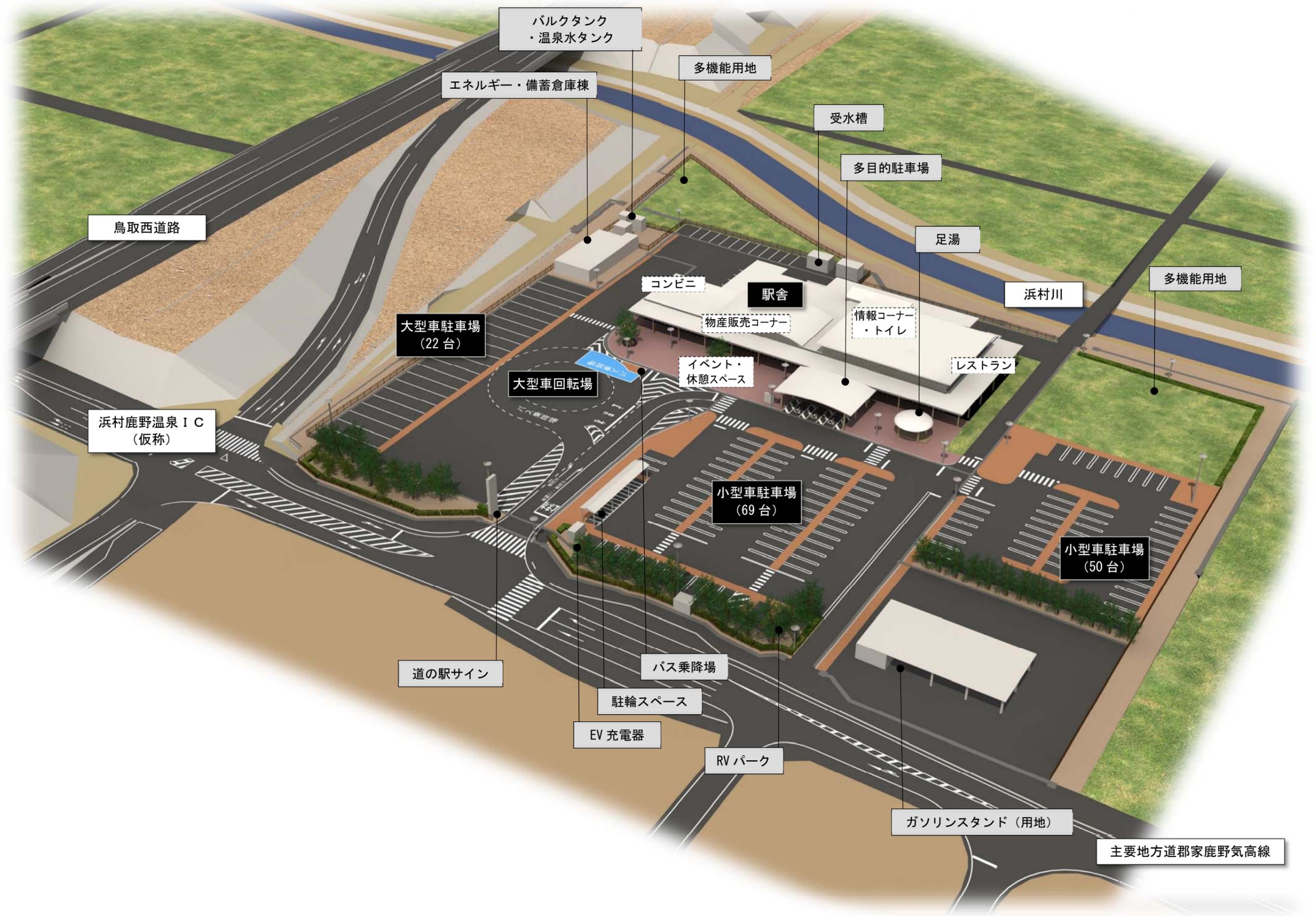


多機能用地でイベント実施によるにぎわいの創出や、臨時駐車場や災害時の避難地等に活用

主要地方道郡家鹿野気高線

浜村川

7. イメージ図



(建築外観パース)



8. 概算工事費と事業スケジュール

○基本設計概算工事費

(単位:千円)

業務		工事費(消費税込)
用地	用地購入費(市部分)	71,000
測量・調査	現地・路線・用地測量、地質調査	13,000
土木設計	道の駅基本・実施設計	31,000
	上・下水道実施設計	13,000
建築設計	建築基本・実施設計、工事監理	48,000
工事	造成、造園・舗装、足湯等工事	624,000
	建築工事	789,000
	上・下水道工事	195,000
	防災・再生エネルギー工事	113,000
合計		1,897,000

※ただし、事務費、備品、内装工事等は除く。

【留意事項】

◇管理運営については指定管理者制度を導入します。(平成30年度に募集予定)

※指定管理者の費用負担により実施していただくもの

○物産・飲食コーナー及びレストラン部分の内装工事(仕上げのみ)、照明・厨房の設備機器(配線、配管共)並びに家具・備品等の購入に係る経費

○コンビニエンスストア部分の内装工事(全般)、照明・給排水の設備機器(配線、配管共)並びに備品等の購入に係る経費

◇ガソリンスタンド部分については指定管理者とは別途に募集します。

○事業スケジュール(今後の予定)

	平成29年度	平成30年度
用地		
用地・購入	用地購入	
測量・調査		
用地調査、測量(敷地)	分筆測量	
土木設計		
造成・造園・舗装等実施設計	造園・舗装等設計	
建築設計		
建築実施設計、工事監理	実施設計	工事監理
工事		
造成工事	造成工事	
建築工事(防災・再生エネルギーを含む)		建築工事
造園・舗装等工事		外構等
下水道工事	接続工事	
上水道工事		配水管工事
その他、民間施設工事 (県道改良、GS、コンビニ、内装等)		県道改良工事・民間工事

道の駅オープン